

マイクロフォージの違い

マイクロフォージのMF-830とMF-900。似ている様に見えますが、大きく違う事をご存知ですか？
今回はマイクロフォージの違いをご紹介します。

◆◆ 用途の違い ◆◆

MF-830とMF-900の大きな違いは、用途の違いです。MF-830は電気生理実験用で、MF-900はインジェクション実験用です。用途によって搭載機能が違ってきます。



MF-830の用途

パッチクランプ等の際に細胞を傷付けない様に、微小電極の先端を滑らかにするファイヤーポリッシュ専用器です。
先端が2μm程度の微小電極を加工出来る様に高倍率の顕微鏡が搭載されています。



MF-900の用途

多様な目的に合わせた、様々なピペットを製作出来る、多機能汎用型です。
ファイヤーポリッシュはもちろん、カットや曲げ、スパイク加工が出来、マイクロピペットの先端加工に適した装置です。

◆◆ 用途に沿った搭載機能の違い ◆◆

型式名	接眼レンズ		対物レンズ			総合倍率	顕微鏡駆動部			マニピュレーター		対応ガラス管
	x10	x15	x5	x10	x35		焦点	俯角	首振り	ピペット用	ヒーター用	
MF-900	○		○	○		50/100倍	○	○	○	X-Z粗動	三次元粗動	・1mm
MF-830		○	○		○	75/525倍	○			X-Z粗動	三次元粗動 +Z軸微動	・1~1.5mm

★ ポイント1: レンズ ★

先端径の細い電極を加工するMF-830は最高倍率が525倍と、高倍率になっています。
ピペット先端付近の加工を行うMF-900は最高倍率が標準で100倍となっています。しかしMF-900にはオプションレンズがあり、倍率を上げる事も可能です。

★ ポイント2: 駆動部 ★

MF-830は電極をヒーターへ容易に接近させる為にヒーター用マニピュレーターにZ方向に微動が搭載されているのが特徴です。
MF-900はヒーター部分が顕微鏡に装着されている為、顕微鏡に俯角や首振り機能を搭載させ、色々な用途に対応させる為にピペットの加工に必要な操作を手元で行えるのが特徴となっております。

★ ポイント3: 対応ガラス管 ★

MF-830はφ1~1.5mm管を固定できます。MF-900は1mm管専用です。MF-900で1mm管以上を固定したい場合は、ご相談ください。

<ここで豆知識>

総称して「ピペット」と呼ばれている中に、「マイクロピペット」と呼ばれるものと、「電極」と呼ばれるものがあります。この二つの違いを知っていますか？

「ピペット」とは元々分析用化学実験器具の一で、一定体積の液体を正確に採取するため、薬液を吸い込ませて用いる道具を言います。よって、微小な薬液等を吸ったり吐いたりをする、インジェクションの実験に使用するものを「マイクロピペット」と呼んでいます。また、電位信号を計る、電気生理の実験に使用するピペットを「電極」と呼んでいます。

ナリシゲカスタマーサポートセンター

TEL: (+81) 03-3308-8232

E-MAIL: sales@narishige.co.jp